

こどもアンケート 課題と対策

課題・対策

総合的な満足度「よい・まあまあよい」72.2%

問2 学童クラブで楽しいことやあそびはありますか？67.2%

(P2) 「わからない」を選んでいる子ども(24.6%)も、楽しいことや楽しい遊びはなんですか？の自由意見で空き箱・虫さがし・工作がすきとあるので安心しました。

自分のしたい遊びを見つけ黙々と遊ぶ子どもが多いように思います。

あそび場を分けたり(工夫したり)、ルールを考え話し合う場面も見られます。

引き続きじっくり遊べる環境作りをしていきたいと思います。

たのしくないことの記載に「学童のみんなで強制的に一緒に遊びたくない」とある⇒行事のことかと思うので、スタッフ役にまわってもらうなど、行事の在り方について再考していきます。

問4 おやつ時間がすきと答えた児童が多かった。83.6%

(P5) 友達と昨日のテレビの話をしたり、学校のことを話したり、冗談を言って笑いあいながら食べる時間は、子ども達にとってとても貴重な時間なのだと思います。

今年の手作りおやつ

4月バナナチョコ⇒おやつバナナにチョコソースをお好みでかけて食べました。1年生にとっては、はじめて自分で作るおやつ。チョコをかける顔が真剣でした。

6月フルーツポンチ⇒班ごとに材料(みかん、パイナップル、ゼリー)を用意。班活動として、おやつ作りを行いました。好きなものを選び、順番に材料を入れて最後に好きなジュースを入れたらオリジナルフルーツポンチの出来上がり。みかんが好きな子・パイナップルはいらないからあげる…等、班ごとに話し合いながら作る姿が見られました。

8月かき氷⇒1人ずつかき氷器で自分のかき氷を作りました。シロップは、4種類(いちご・マンゴー・グレープ・メロン)から好きなものを選びグレープ味が1番人気。職員は、1週間前から氷作りをはじめ、当日、全て使い切りました。夏のかき氷は子ども達に人気で、ほとんどの子どもがおかわりをしていました。

ホットケーキ⇒人数26名で実施。ホットケーキの生地をおたまでプレートの上にのせ生地が膨らみ始めたら慎重にひっくり返し、うっすら色が付いたら出来上がり。どの子も真剣に自分の生地を見つめていました。もう1回やりたい！の声が多数上がりました。

ポップコーン⇒目の前でポンポンと出来上り好きな量だけカップに入れて食べました。

- 12月におにぎり⇒混ぜ込みわかめ、のりたま、味道楽の3つの味から選ぶ。
（白米のみが良い子はそのまま）友達とどんな形にしようかなと楽しそうに話しながら作る姿が見られました。普段、おやつにおにぎりが出ても食べない子どもも自分で作ったおにぎりはよく食べていました。
- 1月にロールケーキ⇒おやつのロールケーキにホイップクリームとマーブルチョコをトッピング。皆、かなり手馴れた様子で飾りつけを楽しんでいました。
- 2月ポップコーン⇒目の前でポンポンと出来上り好きな量だけカップに入れて食べました。
- 3月パフェ⇒進級の会で作る予定

問6 約束についてあなたが分かるようにつたえくれましたか

(P6) 伝えてくれたが70.5%と多かった。

5月からフリーデーに育成方法を変えた時、学童の約束について話をしました。（フリーデー経験者の3年生が1・2年生に説明するかたち）
約束とはなにか？を具体的な言葉にして「みんなが安全に気持ちよく過ごすためのルール決め」みんなで考えみんなで守っていくという意識が浸透したのだと思います。

問7 学童クラブのみんなが使う場所が片付いていると思いますか？

(P7) 片付いていると答えたお子さんは20%。

自由意見でいくつか片付けができていないところをあげていました。

問6の自由意見「本の片付ける場所がわからない」を受け、職員が一方的に「片付けましょう」と言うだけでは子どもの意識が向かない、言った時だけ片付ける状態になっていました。

そこで現在、学童では、片付けができていない本棚の写真を黒板に貼り子ども達にどう思うか自由記載してもらいました。

- ・本がかawaiiそう・自分が本だったらどう思うのか・出した人が同じところに戻せばこうはならない・大切にしたい方がいい・本がきつくて入れられない
- ・ポスターを書いて分かりやすくしたらいい、本の箱を1.5cm高くするといいなど、1日で学年問わず様々な意見が書かれてありました。

子ども主体の片付けやすい本棚作りがスタートしました。

問8 名前の呼び方きちんとしていますか 55.7%

(P7) いやな思いをしていた子には申し訳ないと思います。

今年から子どもも職員も自己紹介カード（5月作成）を作り部屋の壁に飾っています。

好きなテレビや好きなあそび、苦手なことなど。そして、学童で呼んで欲しい名前という欄も作りました。来年度も引き続き自己紹介カードを作成し、

子どもも職員も相手の嫌な呼び方をしないよう気を付けたいと思います。

問 13 あなたが困ったり、嫌だなしてほしくないなと思ったことを伝えた時、学童 (P10) の先生やスタッフは良くなるようにしてくれると思いますか 52.5%

事務室にある相談箱（先生あのね…）の周知をひろめて相談しやすい環境を整えていきたいと思います（相談箱があることを事務室の外からも分かるよう案内を貼る等）廊下や育成室などの目につく場所に移動するか検討中です。

P18 学童クラブに対する意見・要望

暴力、暴言、悪口、けんか、いじめ、ちくちく言葉、仲間はずれがない学童が良いという意見が沢山ありました。多くの時間を過ごす学童が、安心して過ごせない場所であってはいけないと職員も思っています。人の体や心を傷つける暴力暴言は許さず、その奥にある子どもの気持ちに向き合い支援をしていきたいと考えています。ご家庭にご協力をいただき小学校との連携、また時には専門家への相談も行いながら引き続き子ども達が自ら通いたいと思う学童クラブ作りをしていきたいと思います。子ども達も、自己紹介カードに「こんな学童だったらいいな」と素敵な学童への思いを書いていますので子ども達の意見も取り入れ一緒に作りあげていきたいと思います。

最後に

学童は、子ども達がただいまと帰ってきておやつを食べたり宿題をしたりするもうひとつのおうちのような役割です。異年齢との関りで社会性を育むとても大切な場所だと思っています。その子がその子らしくいられる安心安全な生活の場になるよう私たち支援員もこれからも努力していきたいと思います。

以上